

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年11月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104050
法人名	有限会社 たすけあい鹿児島
事業所名	グループホーム 中山の里
所在地	鹿児島県鹿児島市上福元町5933番地 (電話) 099-266-0003
自己評価作成日	平成26年10月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年11月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入居者様が安心して生活できるよう、経験豊富な看護師・介護支援専門員を配置し、日々介護職員と連携をとり真心介護に努めています。
- ・火災や事故に備え、常日頃から自主避難訓練を消防署と協力し合い、すべき対応を心掛けています。
- ・季節の行事は他施設の方々と一緒に福祉バスで、花見・運動会・ソーメン流しなど参加して、社会交流しています。
- ・個別処遇で入居者様の希望を取り入れ、お食事・買物など道の駅やスーパーに外出しています。
- ・日々の食事は調理師が旬の食材で季節の調理を作り、正月のおせち料理や月1回の手作り弁当などをいただいている。
- ・2ユニットの利点を活かして、お互い交流し合いまた隣接する有料老人ホームなどと交流を深めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・地域密着型をめざす理念をもとに、温かい気持ちで家庭的な雰囲気作りに取り組んでいる。
- ・自治会に加入して地域の夏祭りや運動会などの行事に参加したり、近所のゴミステーションの清掃やボランティアの受け入れをしている。地域の80歳以上の高齢者宅を訪問して安否確認を行い、地域の信頼を得ている。
- ・利用者は絵画教室で絵画に取り組み、作品が壁に沢山掲示されている。
- ・玄関に運営推進会議の会議録や外部評価の結果報告が手の届く位置にあり、家族や地域住民・外部関係者などが閲覧できるようにしてある。
- ・家族へ、便り「中山の里」を送ったり、日常の状況を報告したり、電話で変化などについてこまかく報告している。
- ・災害については消防署の指導のもと色々な場面を想定し、昼夜間を含め避難訓練を行っている。緊急連絡装置の定期点検や防災用具の設置、非常時の備蓄などもある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	○グループホームの基本理念に添い、あなたがあなたらしく生きる事を家庭的な雰囲気のなかで温かくサポートします。利用者様を中心にいつも暖かく過せるように心がけています。	基本理念を毎週月曜日の朝礼で唱和している。玄関やホールに掲示して、利用者が地域の中で楽しく笑顔で過ごせるように取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	○高校生の実習受け入れ、ボランティアで中学生との交流、夏祭りなど地域の行事に参加し、又園での行事にも声かけ参加して戴き交流を続けています。	町内会に加入し、地域の夏祭りや運動会の行事に参加したり、ラジオ体操に行く等、ゴミステーションの清掃を行っている。地域住民の80歳以上の家庭訪問をして安否を確認している。事業所の夏祭りや消防訓練等にも近隣住民の参加があり、高校生の実習や中学生のボランティア・幼稚園児との交流もある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	○事業者は地域の民生委員さんの尽力により町内会の高齢者を把握、定期的に挨拶や学習の機会を設けている。（学識経験者を招き絵画教室を定期的に開き参加して戴いている）困りごとの相談も受けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	○利用者様、ご家族様、民生委員、町内会長、長寿あんしん相談センター職員に参加して頂き活動報告、意見や提案を伺いサービスの質の向上に生かしている。	定期的に運営推進会議を開催して、利用者の状況や活動報告・サービスの取り組み・自己評価や外部評価の報告等を行っている。参加者から意見を貰い、送迎車の件やオムツのこと・お盆の過ごし方等を話し合い、サービスの向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	○市の相談員を受け入れ職員以外の方から見た入居者様の思いやご意見を伺い職員会議や処遇会議で報告、ご利用者様の思いを共有し日々のケアに活かしている。	日頃から市の担当者とは介護保険の更新時や相談などで直接出向いて行く場合や利用者の実情やサービスの取り組みを話して協力関係を築くように取り組んでいる。運営推進会議を通じ事業所の活動報告をしたり、電話で課題解決の相談をしたりしている。市の相談員の受け入れも行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	○職員は研修会に参加して拘束による精神的な苦痛や弊害を学んでおり拘束せず、鍵をかけない生活を実施している。	身体拘束廃止委員会があり、職員は内部・外部の研修に積極的に参加して、サービスの質向上に力を入れている。日中玄関の施錠をせずに自由に出入りできるように開放して、外出希望の利用者にはさりげない見守り介助をして拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	○職員は外部、内部研修で高齢者虐待防止法を学び虐待が起きない様にしている。身体的な事のみでなく日常の言葉(言葉の暴力)使いにも職員同士お互いに注意しています。			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	○成年後見制度の利用をされている方が1名おります。お金の管理・病院入院時家族に替わる手続きをして頂いております。 ・研修会等で学んだことは研修報告や勉強会で理解する機会を設けている。			
9	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	○契約前はご家族ご本人に見学がてら来所頂き不安や疑問に思う事など伺い充分な説明を行い理解、納得して頂き契約を結んでいる。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	○2ヶ月に1回運営推進会議を開き入居者様やご家族の意見を聞く場を設けている。議事録はご家族、関係機関に送付している。中山の里便りを季節ごとに発行、各階、入口に意見箱を設置し意見を伺うようにしている	便り「中山の里」で日常の状況を家族へ報告したり、電話や面会の時、状況などについて報告して家族の思いを聞いている。 家族会や運営推進会議に参加して意見や要望で、正月の過ごし方や急病時の対応等、出された意見は運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>○毎月の職員会議、処遇会議や勉強会等の場での自由な意見や提案を聞き業務改善に向けて努力、反映出来ている。</p>	<p>職員は代表者や管理者に、職員会議や処遇会議・勉強会等で気軽に発言し、意見や提案をサービスの質向上に活かしている。現場でいつでも相談できる環境にあり、楽しく笑顔が絶えないホームを目指している。物品の購入の件や種々の要望、意見、提案を出し合って運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>○代表者、管理者は職員個々の勤務実績努力を把握しておりやりがいや向上心を持ち働くようにし又給与などに反映するよう研修、介護福祉士の資格取得なども応援している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>○職員の資格取得等は勤務調整して研修を受ける機会を作り受験出来るように支援。年間計画の中に研修が組み込まれ内外研修に参加、学習している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>○谷山地区は年間を通して研修の企画がある。また地域のG H 県、市のG H協議会に所属しネットワーク作りや研修、勉強会に参加し、質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>○相談申し込みの時点でご本人様を訪問又ご本人様に見学をして頂き困りごとの相談、要望を聞く機会を設けてる。安心して生活が送れる様に信頼関係つくりに努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>○入居前にご家族が望んでいる生活に対する意向や不安な事を伺い安心して生活が送れる様に誠意ある対応を心がけている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>○相談来訪時は切羽詰まった状況、困っている事や援助してほしい事を対話の中で把握し最適なサービスを提供できるように努めている。 関係機関との連携や情報収集を行いより良いサービスの提供</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>○利用者の役割の大切さを職員は理解し家族の一員の思いで関わり行事食など一緒に作り由来など教えて戴きながら感謝の気持ちを伝えている。春の彼岸はぼた餅、秋の彼岸はおはぎなど</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>○家族は入居者の生活に欠かせない大切なメンバーであることを常々たえている。面会時の素晴らしい笑顔と安どの表情に職員は安心します。家族に替わる事は出来ないが家族の一員のつもりで尊厳を持ち対応している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>○入居前のお友達が遊びに来られたり一緒に外出したり自由に出かける事を支援しています。ボラネットで映画鑑賞、花火見学他墓参りなど外出の機会を設けて友人と出かけている。</p>	<p>今までの生活歴を大切にして、本人の希望があれば職員と自宅へ行ったり、地域の友人と話したり、墓参り等の支援を行なっている。近隣の友人が訪ねて来てお茶を飲みながら過ごしたり、友人と外出や墓参りにも出かけている。馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>○職員は利用者が寂しさを感じない様に基本理念にそい（仲良く楽しく暮らせるお手伝いをします）孤立しないで支え合うよう努めています。ホールの席もお互いに助け合えるように配慮しています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>○病院に入院された方には早く退院できるようにお見舞いに行き、また特別養護老人ホームに2名転出されましたですが、時々職員も訪れ関係は続いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>○日々の会話から以前の暮らしを聞いたり本人の思いを聞き、出来る限り本人の望む暮らしを出来るように支援している。</p>	<p>日常の暮らしの中で、本人との会話や行動の中で思いや暮らし方の希望の把握に努めている。家族の面会時に話を聞いたり、電話での情報等を職員は記録して、情報を共有している。困難な場合は本人中心に職員と家族と相談しながら支援している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>○入居前の生活習慣、病気のこと食事のこと等把握に努めている。ご家族とも連携を取り家族の意向も取り入れ支援するようしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>○毎日の記録、引継ぎ等から心身の状況、生活リズムを総合的に把握している。歌が好きな方には一緒に歌い折り紙が上手い方には習いながら一緒に行っている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>○職員間で情報を共有している。本人が楽しく暮らせるために本人、家族、職員の意見を聞き計画作成をしている。入居前後キメ細かに様子を観察、即した計画を作っている。入居時・3ヶ月・6ヶ月毎に作成。意見等反映出来る仕組みです。</p>	<p>利用者一人ひとりがその人らしい生活ができるように、家族や職員・医師等で話し合い、介護計画を作成している。定期的にモニタリングを行い、日々の記録やミーティングで話し合ったことなどを検討して、現状に即した計画の見直しをしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>○日々の健康記録、個別の介護記録、日誌等で入居者様の状態1日の様子など細かに記録して情報を共有出来ている。日常の介護や介護計画作成に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>○本人や家族の意向を大切にしながら必要に応じて対応している。家族に代わり受診同行や外出支援を柔軟に対応している。季節ごとの便り、一月の様子など電話でもお知らせしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>○地域のレストランや食堂での外食、近隣のソーメン流しの利用、夏祭りへの参加地域での生活を実感できるように支援している。又園での行事等にも招待して喜んで頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>○利用者ご家族の希望する医療機関で継続受診をしています。歯科、皮膚科、眼科受診も支援している。又2週1回の居宅療養管理指導を受けている。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。歯科や眼科など専門医の受診や急変時の受診は職員が同伴して受診している。居宅療養管理指導を受けているので、往診を取り入れている。医師と連携を取りながら適切な医療が受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>看護職員は、日常の関わりの中で得た情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>○20年4月より医療連携加算を頂き、看護師は健康管理に一生懸命取り組み職員も利用者の病気については専門的な意見や実習を受け、実践に役立てている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>○管理者、看護師、介護支援専門員は医療機関へのサマリーや口頭で情報提供を行い継続ケアの情報交換を行い早期退院への支援を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方にについて、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>○契約時の説明や入院後2週間にサービス担当者会議を設け情報を共有し利用者にとって一番良いと思われる方法で充分にご家族とも話し合う。</p>	<p>重度化や終末期の在り方については、入居時に本人や家族に事業所の方針を説明している。何度も話し合いを行い、事業所でできることを支援し取り組みを行っている。看取りについては家族の希望や協力がある場合は医師と連携して検討している。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>○緊急時や事故発生時に備えマニュアルを作りすべての職員が対応できるように取り組んでいく。心肺蘇生の指導をH26年7月8日に職員全員講習を受ける</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	○年2回消防署の指導を受け通報訓練、初期消火等実施している。また、自主的に火災や地震を想定し、地域の民生委員さんなどの協力をもらい避難訓練を行っている。防火・防災マニュアルが有る。	年2回、マニュアルをもとに消防署の立会いのもと訓練と事業所独自の消防訓練を行っている。災害について昼夜間想定や火災・地震等の訓練も行っている。緊急連絡装置の定期点検や防災用具が設置されている。自主訓練も地域の住民と協力関係を結んでいる。災害時の備蓄品も定期的に交換している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ご利用者の生活歴の理解に努め利用者の思いに耳を傾け言葉使いには特に注意。個人に合った言葉掛けをしている。 	<p>日常の生活の中で人格の尊厳とプライバシーに注意しながら支援している。内部・外部の研修会に積極的に参加し、特に言葉かけで、管理者や職員間で気づいたら、お互いに注意し合って全体的なケアの質向上に取り組んでいる。</p>	
37		<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の自由な意見を尊重して援助に心がけている。お化粧外出、外食、電話取り次ぎ等支援また居室で趣味など出来るよう支援している。 		
38		<ul style="list-style-type: none"> ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者の希望に沿い朝ゆっくり起きたい方にはゆっくり起床。10:30朝食もいる新聞を朝6時に読みたい希望の方には5時に新聞を持参5:30朝食希望にも応じている。我儘を通して感じる感じもあるが個別に対応している。 		
39		<ul style="list-style-type: none"> ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している 	<ul style="list-style-type: none"> ○散髪やパーマ等自分の好みのところに家族や職員と同行、季節に合わせた衣服の購入など本人に合わせた支援をしている。福祉美容の利用も有りそれぞれの好みに応じている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	○ご飯を美味しく食べる為に、ご飯前に嚥下体操を実施しています。出来る方は配膳、下膳、匂の野菜の皮むきなどお手伝いをいただき、それぞれに力を発揮している。	食事が楽しみなものになるように、一人ひとりの嗜好を把握し食事の形態を考慮している。調理師による美味しい食事を工夫し、毎月25日は弁当の日と決めて利用者は楽しみにしている。行事食に力を入れ、夏祭りはバーベキューで好きなものを食べている。利用者の力量に応じて皮むきや下膳等、職員と一緒にを行い、会話を楽しみながら食事をとっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	○毎食事量のチェック、形状の工夫捕食の提供を行い個別に対応している。 ○水分摂取量のチェック、時間を決めて支援入浴後など水分補給に勤めている。お好みに応じた物を飲んでいただいている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	○出来る方には自分でしていただき出来ない方には細部にまで歯ブラシやスポンジブラシで対応。口腔ケア教室も開き清潔に過ごす事が出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	○看護師職員が排泄チェック表を活用して時間の把握、トイレ誘導している。失敗も有るが上手く行く時もある。昼夜の状態にあわせリハパンやパットの使い分けPWトイレの使用で身体的負担の軽減に努めている。	利用者一人ひとりの排泄パターンを排泄表に記録し、タイミングよくトイレ誘導と声かけを行いながらトイレでの排泄の自立支援に取り組んでいる。夜間はポータブルトイレを使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	○排便チェック表を作成し看護師、職員で毎日チェックを行っている。お食事にも工夫をして予防に努めているが、排便のない場合は医師と相談し病院と連携を図っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわず、個々に応じた入浴の支援している	○個人の希望にあわせ時間の調整をしている。 ○入居者の能力に応じた入浴支援をしている。最低週2回は入っていただけるよう支援している。	入浴は曜日を決めているが、利用者の希望に合わせて、好きな時間に入れるように入浴支援を行っている。入浴剤や会話など楽しめるように工夫をしている。タオルなども一人ひとり自分の決まったものを使えるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	○生活のリズムが出来るように昼夜の更衣を支援している。日中の様々な活動の中で快い疲れで安眠できるように又室温、照明にも気配りしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○服薬については看護師より適切な助言を貰い声に出して名前確認、手渡し確實に服用するまで見届ける。薬局からの情報を看護師は確認、目的と副作用についても職員に周知できている。			
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	○絵画教室に参加し、作品はすこやか長寿まつりに出展している。園外・園内行事も多くあり、楽しく過ごしている。個別にお誕生日祝いなどで本人様の望みを叶える日もあり楽しく（映画、外食、買い物）過して頂いている。			
49 18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	○月一回の行事や本人様の要望に応じた個別外出を行っている。またご家族と年忌やお墓参りに出かける機会もつくり、地域の行事参加もある。	日常的には近隣の散歩に出かけている。年間計画を作り地域の行事に参加したり、花見やソーメン流し・個別外出日を決めて買い物や外食にも出かけ、戸外に出かけられるように支援に努めている。家族と墓参りや外食も楽しんでいる。		
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	○本人の希望で小遣を持っている方も居ます。皆さん戦争を体験、お金の大切な事を充分解かっており無駄な買い物はしません。買い物は職員同行です。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	○携帯電話を持ち家族や友達等自由に使用している方も居る。出来ない方には電話の取次ぎや手紙の代筆などを行い、支援している。			
52 19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	○中に入ったら台所ホールが見渡せ安心できる。和室では洗濯物たたみをして語らい、テレビを見て楽しみの場になっている。廊下やホールは車椅子や歩行器の方が居り安全のため物は置かないようになっている。壁に季節感を味わう事の出来るようなものを展示	玄関には季節の花が生けてあり、ホールは広くエアコンでの温度調整がされ、不快になるような物もなく快適に過ごせる空間になっている。壁には利用者の作品が飾られていたり、テレビをくつろいで見れるようにしてあり、居心地良く過ごせるよう工夫した共用空間になっている。		
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思に過ごせるような居場所の工夫をしている	○共用空間では和室を完備して、気の合った方同士談話をしながら、自由に過ごしていただいている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>○ご本人の使い慣れた家具や寝具を使っていただいている。家族の写真やご仏壇を置き、落ち着いて過ごしていただいている。</p>	<p>部屋の入り口は長いのれんがありドアを開けても部屋の中が見えないようになっている。本人や家族と話し合い、仏壇やテレビ・写真・本等、使い慣れた物や好みの物が置かれ、居心地良く過ごすことができるような居室になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>○自立支援を目標に利用者の力に応じた声かけ見守りを行い安全を優先して個別に対応している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
		<input checked="" type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	3 家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	○	2 数日に 1 回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない